

平成28年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 平成28年11月15日(火)午後2時～午後3時50分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室
- 3 出席者
 - (1) 委員 鶴岡政彦委員長 浜口貞美委員 伊藤眞由美委員
相田幸寿委員 渡辺みどり委員 滝本はる恵委員
小茂田茂委員 樋口美佐子委員 五十嵐恵委員
高津みどり委員
 - (2) 事務局 青木生涯学習推進課長 高橋図書館長
橋本主査補 小林
- 4 傍聴者 なし

5 議題

○図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービスについて

- ・平成28年3月に実施した図書館利用者アンケートの調査結果について
- ・これまで実施した図書館利用者アンケートに対する取組みについて

【審議内容】

委員長 まず、会議の議事録署名委員は、名簿順に浜口委員と高津委員にお願いする。それでは、議題の「図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービス」に関して、1点目の「平成28年3月に実施した図書館利用者アンケートの調査結果」について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見があればお願いしたい。

委員 アンケートにおいて、図書館にどのような目的で来館してどのような利用の仕方をしているのかといった質問項目を設けることは可能か。

事務局 質問方法について検討したい。

委員 回答者属性項目における年齢は、親子で来館した場合、どのように区分されているのか。

事務局 アンケートへの回答者の年齢が対象となる。

委員 「スタッフの接客」に関する質問において「どちらかといえば不満」

との回答が7件あったが、不満の理由を記載してもらうようにしてはどうか。

事務局 検討したい。

委員 「参加したことのあるイベント」に関する質問において講演会との回答が多かったが、アンケートの実施期間に開催されるイベントの影響があるのではないのか。

事務局 多少の影響は、あるかもしれない。

委員長 このイベントに関する質問では複数回答が可とされているが、アンケート用紙にその旨が表記されていないので記載したほうが良い。

事務局 記載するようにしたい。

委員長 配布された資料に「図書館への意見・要望・感想」に関する自由意見が取りまとめられているが、全体を通してご意見があればお願いしたい。

委員 寄せられた自由意見に対し実情はこうだといったコメントが、一言でもいいからほしい。

事務局 了解した。ご意見に対し現状では多くの課題があるが、工夫をしながら取り組んでいるところである。そうした中で、「東部分館は夜間に開館する必要はない」とのご意見があったが、利用者数のみで判断することは困難と考えている。

委員 夜間利用については、利用者にアンケートをとってみるのも一つの方法としてあるのではないか。

委員 「本の返却場所を駅前に増やしてほしい」等のご意見が何件か寄せられているが、実現されれば利便性が高まるのではないか。

事務局 監視が行き届かない場所に返却ボックスを設置すると、ボックス内にごみを投げ込まれたりする恐れがあるので、本の返却方法については検討が必要である。以前、タバコの吸い殻が投げ入れられた事例があると聞いている。

委員 絵本や児童書の並べ方に関するご意見が寄せられているが、その並べ方はタイトル、シリーズ、作者といった区分で行うことが考えられるところであるが、その取組みについての見解をお聞きしたい。

事務局 いろいろなことを加味して現在の並べ方になっているので、すぐには変えることはできない。しかし、ご提言については今後の課題とさせていただきます。

委員長 続いて、2点目の「これまで実施した図書館利用者アンケートに対する取組み」について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 　ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見があればお願いしたい。
委員 　この図書館利用者アンケートに対する取組みについては、市民にPRしているのか。
事務局 　これまで実施した主な取組みについては、本年10月に平成28年3月に実施した図書館利用者アンケートの結果とともに図書館入口に掲示させていただいた。
委員 　市広報の図書館ボードにも掲載してはどうか。
事務局 　掲載する方向で検討したい。
委員長 　議題については、以上としたい。

6 報告

○平成28年度先進館視察（川崎市立中原図書館）の結果報告

委員長 　報告案件の平成28年度先進館視察に関して報告をお願いしたい。
委員 　平成28年10月28日に、委員5名と事務局3名で川崎市立中原図書館を視察した。この中原図書館は、JR横須賀線、JR南武線、東急東横線の3線が交差する「武蔵小杉駅」に直結のきわめて交通至便な場所にあつて同駅周辺の再開発により建設された複合ビルの5～6階部分を中心に入居している構造となっていた。同図書館は、「好アクセスのビジネスマンのオアシス」「市民活動・生涯学習活動の支援」「誰もが使いやすい図書館」「ハイブリッド図書館」「市民・地域・企業との協働」「効率的で利便性の高い図書館」の6つのコンセプトを掲げているが、今回はこうした視点に立って具体的な内容について視察を行ってきたところである。視察を終えての感想であるが、鎌ヶ谷市立図書館が位置する初富駅周辺地区は、郷土資料館やきらりホール、中央公民館等の文化施設さらには商業施設が備わってきており、鎌ヶ谷市の文化・歴史を継承していく空間として整備されていくことが望まれる。そのためには、行政がしっかりと図書館の運営やそのいろいろな活用の仕方について考えていくことが必要である。

7 その他

委員長 　「その他」ということで何かあればお願いしたい。
委員 　図書館だよりの発行部数について伺いたい。
事務局 　図書館だよりは、年4回発行し、部数としては700～800部である。

委員長 　それでは、以上をもって本日の図書館協議会を閉会とする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成29年1月10日

署名人 浜口 貞美 印

署名人 高津 みどり 印